

高知大学小児科へ

ようこそ！

- 高知大学小児科のホームページをご覧ください、ありがとうございます。
- 小児科の初期研修や後期研修ではどのような事をするのか（やっていけるのか）、不安な方も多いと思います。
- 先輩小児科医のキャリアパスを参考に、どのような研修をしたいか一緒に考えて行きましょう。

小児科の魅力・特徴

- **守備範囲が広い**

いろいろな分野の事を勉強できる（内分泌・腎臓、循環器など…）
（こどもの総合診療科・家庭医）

- **年齢の幅も広い**

新生児から大人までも

- **家族が見える**

両親や兄弟のことも一緒に考える

- **急性期から慢性期まで、更なる専門性も持てる**

救急の対応、輪番もあり。専門性(Subspeciality)も取得できる

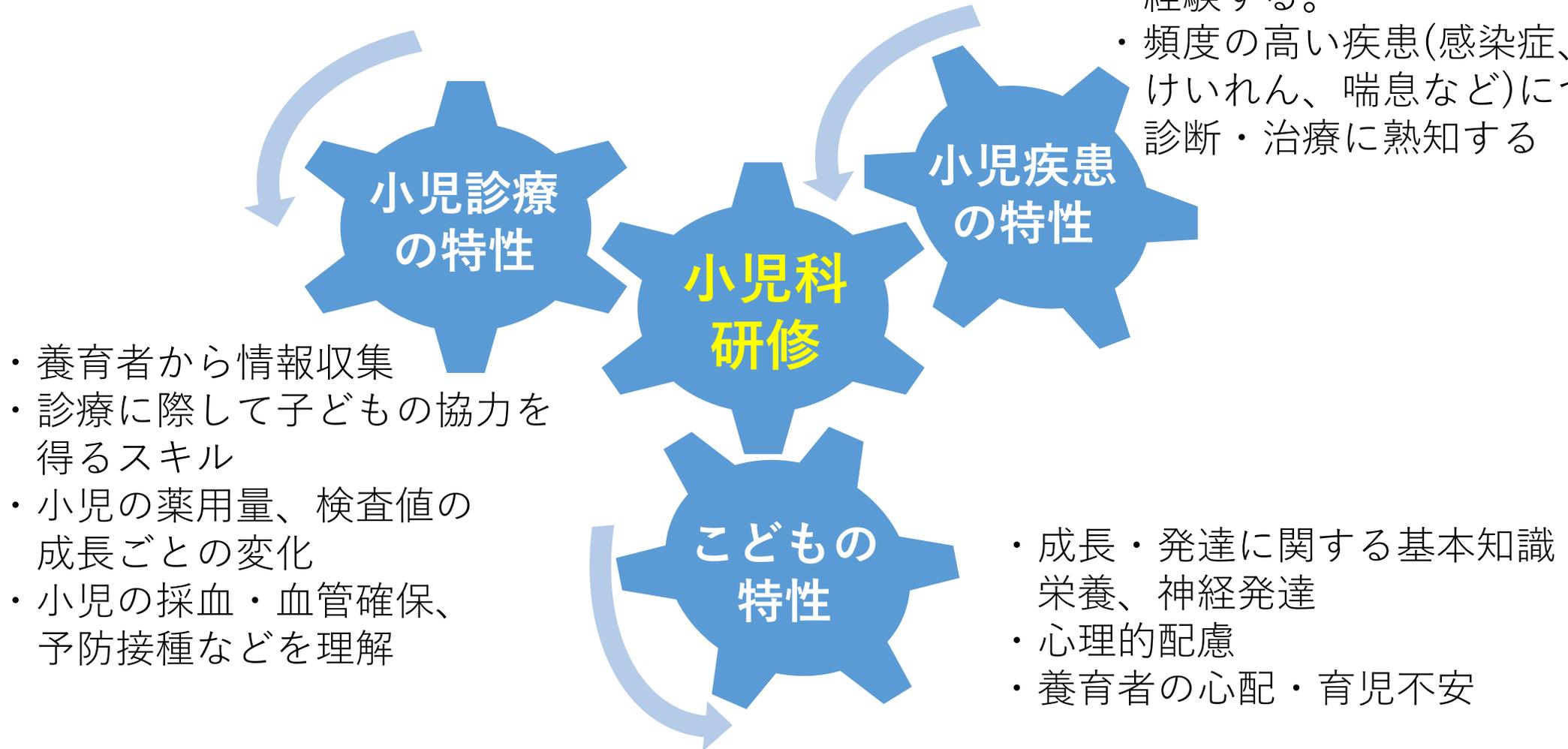
- **子どもの成長を共に喜べる**

- **病気がシンプルな事が多い**

大人のように糖尿病や高血圧など基礎疾患を有さない事が多い

小児科研修での一般目標

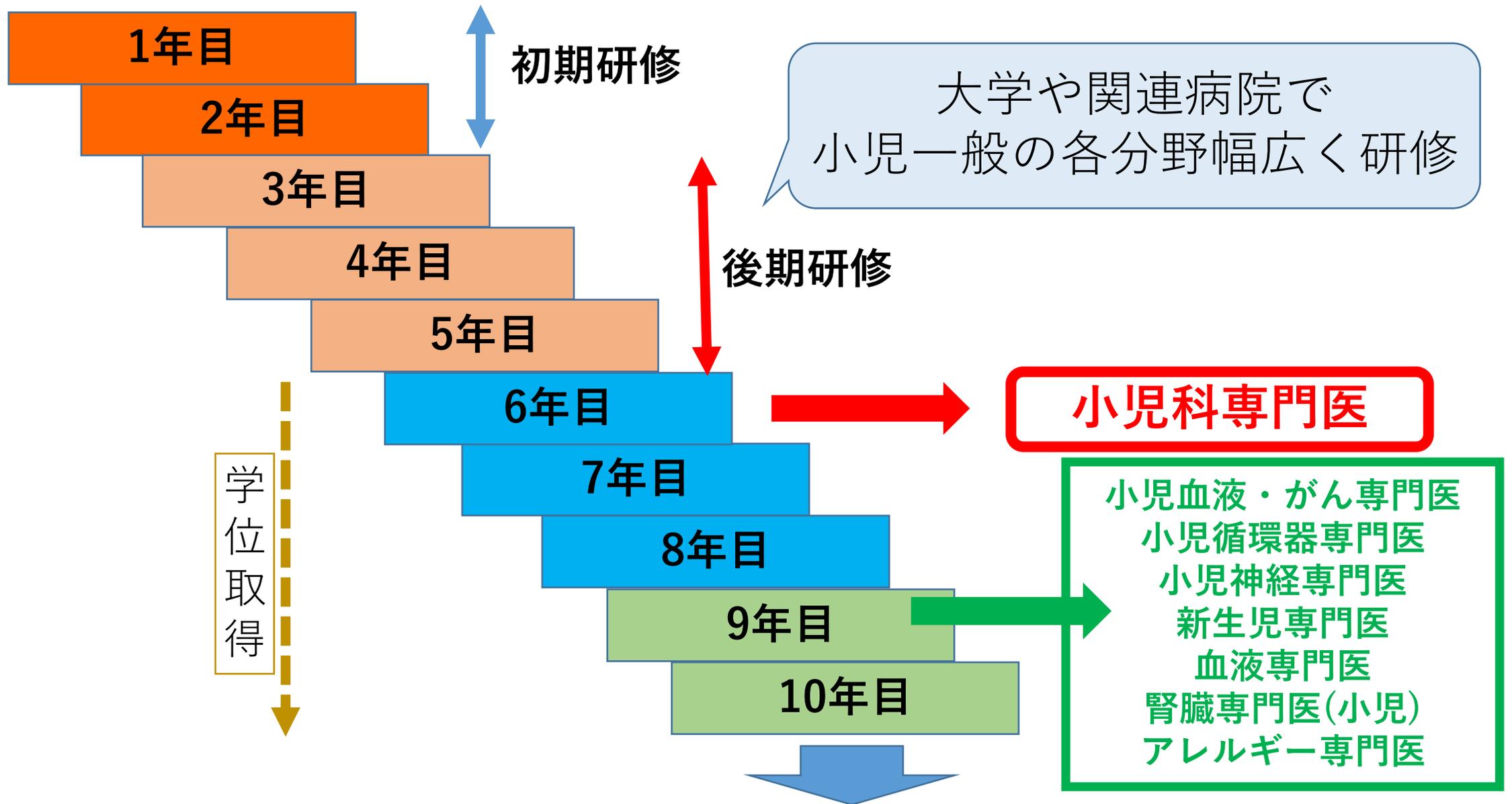
- ・ 年齢毎の病状を理解し、鑑別疾患を挙げ、問題解決する
- ・ 子ども特有の疾患、先天異常を経験する。
- ・ 頻度の高い疾患(感染症、けいれん、喘息など)について診断・治療に熟知する



- ・ 養育者から情報収集
- ・ 診療に際して子どもの協力を得るスキル
- ・ 小児の薬用量、検査値の成長ごとの変化
- ・ 小児の採血・血管確保、予防接種などを理解

- ・ 成長・発達に関する基本知識
栄養、神経発達
- ・ 心理的配慮
- ・ 養育者の心配・育児不安

小児科キャリアパス



初期研修（2年間）

1. 大学病院中心のローテーション例

4月

10月

初期研修1年目
(卒後1年目)

必須科

小児科 (NICUを含む)
1~2か月

初期研修2年目
(卒後2年目)

必須科

小児科 (NICUを含む)

2. 他病院中心のローテーション例

4月

10月

初期研修1年目
(卒後1年目)

必須科

初期研修2年目
(卒後2年目)

必須科

小児科
(NICUを含む)

後期研修（3年間） とその後

2017年4月から

専門医取得のためには**研修指定病院**（大学病院など）の研修プログラムに従わなければならない。

後期研修1年目
（卒後3年目）

大学病院小児科（NICUを含む）

後期研修2～3年目
（卒後4～5年目）

- | | | |
|-------------|---|----------|
| ①高知医療センター | ↔ | 大学病院 |
| ②高知医療センター | ↔ | 幡多けんみん病院 |
| ③幡多けんみん病院 | ↔ | 大学病院 |
| ④幡多けんみん病院 | ↔ | 高知医療センター |
| ⑤国立病院機構高知病院 | ↔ | 大学病院 |
| ⑥三豊総合病院 | ↔ | 大学病院 |

...

必要に応じて、その他・県外施設での研修

卒後6年目以降

小児科専門医の取得およびSubspeciality研修のため県内外の病院で研修

これまでに研修した専門研修施設

国保旭中央病院小児科・新生児科（千葉）

成育医療センター アレルギー科・研究室（東京）

都立小児総合医療センター 新生児科（東京）

国立感染症研究所 病理部（東京）

東京女子医科大学腎臓病総合センター 小児科（東京）

国立がんセンター 小児科（東京）

国立精神・神経センター（東京）

理化学研究所 幹細胞（東京）

神奈川県立こども病院 新生児科（神奈川）

静岡てんかんセンター（静岡）

国立循環器病センター 小児循環器科（大阪）

大阪府立母子総合医療センター（大阪）

代謝内分泌科

血液腫瘍科

岡山大学 小児神経科（岡山）

久留米大学医療センター 小児科(小児腎臓)（福岡）

鹿児島大学 小児科(小児膠原病)（鹿児島）

高知大学小児科にいる先輩ドクターの
キャリアパスを今後紹介していきます。

今しばらくお待ちください・・・